

多国間制裁監視チーム（MSMT）
第1回報告書（北朝鮮とロシアの軍事協力）に関する共同声明（仮訳）

豪州、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、オランダ、
ニュージーランド、韓国、英国、米国

我々、多国間制裁監視チーム（MSMT）参加国は、MSMTの第1回報告書を本日公表した。MSMTは北朝鮮に関する国連制裁措置の履行を監視し報告するため2024年10月に設立された多国間のメカニズムである。本報告書はMSMTの公式ウェブサイトで見覧可能である(<https://msmt.info>)。

本報告書は武器移転やロシアによる北朝鮮兵士の訓練を含む不法な露朝軍事協力に主に焦点を当て、関連する国連安保理決議に定められた制裁措置の違反及び回避に関するMSMT参加国から提供された情報をまとめたものである。本報告書には公開情報を分析する機関により提供された情報も含まれている。

本報告書は、2024年3月のロシアの拒否権行使による2024年4月の国連安保理北朝鮮制裁委員会（1718委員会）専門家パネルの終了によって生じた監視の間隙を埋めるための我々の取組の成果である。本報告書は国際社会による国連決議の完全な履行を後押しするものである。専門家パネル終了以前の完全な形態に戻すことを前提として、国連制裁枠組の中心的要素である専門家パネルを再設置するための対話の機会が開かれたままである。

MSMT第1回報告書の公表により、関連する国連安保理決議の完全な履行に向けた我々の共通の決意を改めて強調する。我々は、北朝鮮に意味のある外交に関与するよう促すとともに、全ての国に対し、北朝鮮及び関連する国連安保理決議に反して北朝鮮の不法な活動を助長する主体による脅威が継続する中で、国際の平和と安全を維持するためのグローバルな取組に参加するよう求める。

我々は、北朝鮮に関する国連安保理決議の履行の監視と、現在も行われている国連制裁違反及び回避の試みについての関心を高めるため、引き続き取り組んでいく。